

遠阪トンネル有料道路の老朽化対策等に関する有識者会議（第3回会議） 議事概要

1. 日 時 令和6年3月13日（水）10:00～11:20

2. 場 所 兵庫県公社館1階大会議室

3. 出席者

【委員】（◎は会長）※敬称略、五十音順

<small>あくたがわ</small> 芥川	<small>しんいち</small> 真一	神戸大学大学院工学研究科 教授
<small>うぐもり</small> 鷗森	<small>まるみ</small> 丸美	朝来市商工会女性部 部長
<small>おおき</small> 大木	<small>れいこ</small> 玲子	丹波市商工会 参事
<small>こやま</small> 児山	<small>しんや</small> 真也	兵庫県立大学国際商経学部 教授
◎ <small>もりかわ</small> 森川	<small>ひでのり</small> 英典	神戸大学大学院工学研究科 教授

【アドバイザー】※敬称略、五十音順

<small>あらたに</small> 荒谷	<small>よしひろ</small> 芳博	近畿地方整備局豊岡河川国道事務所 所長
<small>たけもと</small> 武本	<small>まさひと</small> 昌仁	近畿地方整備局企画部 施工企画課 課長

4. 議 事

・提言（案）について

5. 議事概要〈委員等からの主な意見〉

【提言（案）について】

- ・ 提言（案）は抽象的な表現になっており、読み手はわかりにくい部分もあるかもしれないので、これを補完する会議資料は長期的に閲覧可能な状態にしてほしい。
- ・ 料金徴収の延長期間（いつ頃まで延長する）を明記していないが、事務局にて料金徴収期間の検討を速やかに進め、県民に公表してほしい。また、そのことを明記してほしい。（事務局：これから料金徴収期間の検討を速やかに進めていく。諸手続完了後、料金徴収期間を公表していく。）
- ・ 県や道路公社内で全3回の有識者会議で得た知見等を共有し、十分に活かしてもらいたい。
- ・ 大規模修繕更新で約40億円が必要となっているが、何にそれだけの費用がかかるのかが重要。特に設備の大規模更新にかかる費用（約30億円）が大部分を占めるため、内容をもう少し細かく記載してほしい。
- ・ 打音検査と触診点検の表現が混在しているため、統一してほしい。
- ・ 昨年10月頃に道路公社にて官製談合事案があったところであり、提言をまとめるタイミングで改めて透明性の確保やコンプライアンスの徹底についても要望したい。
- ・ 料金徴収期間の延伸については、社会的理解を得ることが大事であり、県民や利用者に情報共有しながら慎重に進めてほしい。わかりやすいPRに努めてほしい。

【今後の対応等について】

- ・ 能登半島地震でも明らかになったように、道路、自動車専用道路というのが極めて重要であり、構造物を非常に良好な状態に維持しておくということが大事である。
- ・ インフラを管理していくにあたり、点検頻度が高ければ大きな損傷になる前に修繕が可能。点検頻度が低ければ、大規模修繕等が必要になってくる。点検頻度と修繕規模の関係をデータ分析して行ってほしい。点検頻度を高めると点検費用はかかるが、修繕費用は安くなり、結果的にトータルコストは下げられるかもしれない。
- ・ 点検結果がⅡcにならないように、予防保全を進めていくことが重要。新技術を自ら進んで試行的に検証してみるということが重要。
- ・ インフラを管理していくにあたり、データベース構築ができていないことは問題。速やかに構築し、データを蓄積して行ってほしい。過去の情報を教訓として未来に生かしていくことが重要である。人手不足や将来の不確定性に対応するツールにもなる。
- ・ どのように利用を促していくのか、新たな利用促進策について、具体案を考えて行ってほしい。すでに取り組んでいる周遊ドライブパスの取組みも認知不足であると感じるため、積極的に広報して行ってほしい。